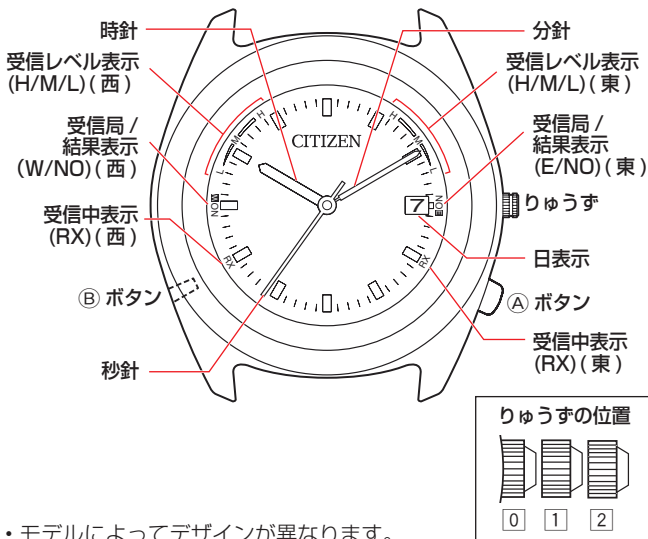


## A410 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、Webマニュアルをご参照ください。 <https://citizen.jp/support/guide/html/a41/a41.html>

### 各部の名称



- モデルによってデザインが異なります。

### 受信局を切り替える

- この時計は、日本の標準電波を受信し、時計 / カレンダーを自動で合わせます。

- りゅうずの位置を **0** にする
- (B) ボタンを押す**

秒針が現在の受信局を指します。

表示	受信結果
E (東)	おおたかどや山標準電波送信所 (福島) の電波を受信します。
W (西)	はがね山標準電波送信所 (九州) の電波を受信します。

- 時計を使用する地域に合わせて選びます。
- (B) ボタン**を押すごとに、受信局の東西が切り替わります。
- 秒針が受信局を指して 10 秒間経過すると、自動で時刻表示に戻ります。**(A) ボタン**を押すと、すぐに戻ります。

### 受信結果を確認する

- この時計は、毎日午前 2 時に、標準電波を自動受信します。午前 2 時に受信できなかったときは、午前 4 時に再度受信します。

- りゅうずの位置を **0** にする
- (A) ボタンを押す**

秒針が、受信結果 (「H」「M」「L」または「NO」) を指します。

表示	受信結果
H	非常に良い環境で電波を受信中または受信したとき。
M	良い状態で電波を受信中または受信したとき。
L	良くない状態で電波を受信中または受信したとき。
NO	受信に失敗したとき (手動で受信を行ってください)。

- モデルによって、秒針の「先の部分」で指すものと「尾の部分」で指すものがあります。
- 「H」、「M」、「L」の表示は、受信環境の適性を示すもので、時計の受信性能には関係はありません。
- 秒針が受信結果を指して 10 秒間経過すると、自動で時刻表示に戻ります。**(A) ボタン**を押すと、すぐに戻ります。
- 電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じます。

### 電波を手動で受信する (強制受信)

- 自動受信ができなかった場合に行います。
- 受信が完了するまでに、2 分から 13 分程かかります。

- りゅうずの位置を **0** にする
- 窓際などの電波が受信しやすい安定した場所に、時計を置く
  - 時計の 12 時位置を電波送信所の方向に向けます。
- (A) ボタンを 2 秒間以上押す**
  - 秒針が「RX」を指したら、ボタンを離します。受信が始まりしばらくすると、秒針が受信レベルを表示します。
  - 受信中は時計を動かさないでください。
  - 受信が完了すると、自動で時刻表示に戻ります。

### 時刻とカレンダーを手動で合わせる

- この時計のカレンダーは、うるう年を含む 2100 年 2 月 28 日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

### 秒と分を合わせる

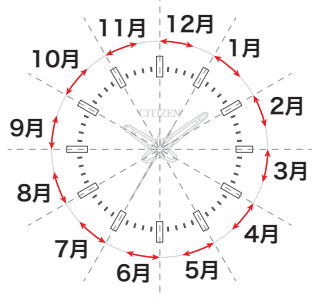
- りゅうずの位置を **2** にする  
秒針が 0 秒を指します。
- りゅうずを回して、分を合わせる
  - りゅうずを素早く回転させると、分針と秒針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
- 時報に合わせて、りゅうずの位置を **0** にし、終了する  
秒針が動きはじめます。

### 時と日表示を合わせる

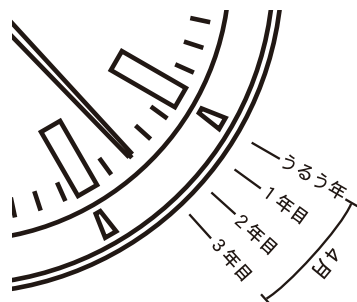
- りゅうずの位置を **1** にする  
秒針が、現在設定されている年と月を表示します。
- (A) ボタンを押す**  
時針が動いて、時と日表示が合わせられるようになります。
  - (A) ボタン**を押してからにも操作せずに 30 秒間経過すると、時と日表示が合わせられなくなります。最初からやり直してください。
- りゅうずを回して、日表示と時を合わせる
  - 日表示は時針と連動します。
  - 日表示が切り替わったときが午前 0 時です。午前 / 午後を間違えないよう注意します。
  - りゅうずを素早く回転させると、時針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
- りゅうずの位置を **0** にして、終了する

## 年と月を合わせる

1. りゅうずの位置を **1** にする  
秒針が、現在設定されている年と月を表示します。
2. りゅうずを回して、月と年を合わせる  
・月は、時刻の「時」の範囲で示されます。



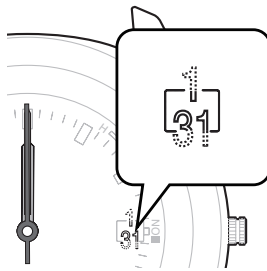
- ・年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。
- ・うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい解説があります。
- ・りゅうずを素早く回転させると、秒針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。  
(例) 2015年4月に合わせるときは  
4月→4時の範囲  
2015年→うるう年から3年目



3. りゅうずの位置を **0** にして、終了する

## 基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を **0** にする
  2. **A** ボタンを 10 秒間以上押し続ける  
秒針が現在の受信局を指したあと、各針 / 表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。  
・正しい基準位置：  
すべての針が 12 時位置、  
日表示が「31」と「1」の間
- 現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。
3. **A** ボタンを 2 秒間押す  
時刻表示に戻ります。



## 基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. **A** ボタンを 10 秒間以上押し続ける  
秒針が現在の受信局を指したあと、各針 / 表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。
3. りゅうずの位置を **1** にする  
時針と日表示の基準位置が合わせられるようになります。
4. りゅうずを回して、時針を「12時」、日表示を「31日と1日の間」に合わせる  
・日表示は時針と連動します。  
・りゅうずを素早く回転させると、時針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
5. りゅうずの位置を **2** にする  
分針と秒針の基準位置が合わせられるようになります。
6. りゅうずを回して、分針を「0分」、秒針を「0秒」に合わせる  
・秒針と分針は連動します。  
・りゅうずを素早く回転させると、分針と秒針が連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
7. りゅうずの位置を **0** にする
8. **A** ボタンを押す  
時刻表示に戻ります。  
・時刻表示がずれているときは、「電波を手動で受信する」を行ってください。

## オールリセットを行う

1. りゅうずの位置を **2** にする  
秒針が、時計の記憶している基準位置へ移動します。
2. **A** ボタンと **B** ボタンを同時に押す  
秒針と時針が動き、オールリセットが行われます。

### オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置を合わせます。その後、手動で電波を受信し、時刻とカレンダーを合わせてください。

- ・オールリセット後の基準位置合わせでは、すべての針 / 表示の位置を少し動かしてから正しい基準位置に合わせてください。秒針が動き出さない場合があります。